

佐野日本大学短期大学シラバス				2018
科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
中国語 I (Chinese I)		1年	前期・後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	()	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
陳順和	本館3F	授業の開始前及び終了後		授業中に指示します
授業の概要				
1. 中国語を習うには、まず表音ローマ字の子音と母音、複合母音をしっかりと覚える。四声の練習は、特殊な教材で二回の授業を行い、正確な発音を学ぶことができるはずである。2. 中国語文法を体系的に説明する。3. 会話力・表現力を向上させるため、さまざまなテーマで繰り返し広げられる日常的な会話文を学習する。特に聞き取りと口頭での受け答えの力を高めることに重点を置く。4. プリント＜新聞記事＞・ビデオで中国の現状と文化・芸術・歴史などを紹介する。				
授業の目標				
1. 中国語の疑問文の表現ができるようにする。 2. 日常生活においてよく使われる中国語の表現を身につけ、人に声を掛ける勇気を持つことができるようにする。 3. 文の基本構造（主語＋動詞＋目的語）によって、短文を作ることができるようにする。 4. 中国語の発音ができるようにする（完成度80％）。 5. 中国経済と社会についての関心度と知識レベルを高めることができるようにする。				
授業の方法				
発音・会話・短文作りを繰り返して練習する＜文型で短文作りの練習をする＞。写真・ビデオ・プリント＜新聞記事＞で中国の現状を説明する。課題によって問題に取り組ませる技法、授業時間外の学習を促す技法、学生を相互に学ばせる技法、書かせて思考を導く技法等を用いて授業する。				
学習の成果（学習成果）				
中国人相手に簡単な中国語で会話できる。中国の現状を確認できる。異文化理解、国際的教養を高めることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	中国語の発音と中国語表現の特徴と解説、前期学習計画を説明、中国についての話しをする。			
第2回目	母音発音練習	文法：私は大学生ですの表現		
第3回目	複合母音発音練習	文法：彼は大学生ですかの表現		
第4回目	複合母音発音練習	文法：彼は誰ですか、彼はどこにいますかの表現		
第5回目	子音発音練習	文法：今は何時ですか、何時間かかりますかの表現		
第6回目	四声発音練習	文法：この本は何キロですか、この本は重いですかの表現		

第7回目	四声発音練習	文法：これはなんですかの疑問文（小テスト①）
第8回目	短文作り練習	文法：どう思いますかの疑問文
第9回目	短文作り練習	文法：主語＋副詞＋動詞
第10回目	作文（自己紹介）	文法：主語＋動詞＋目的語
第11回目	作文（自己紹介）	文法：主語＋状態副詞・副詞子句＋動詞＋目的語
第12回目	作文（自己紹介）	文法：主語＋動詞＋動詞の補語
第13回目	作文練習	文法：主語＋形容詞＋形容詞の補語
第14回目	作文練習	文法：動詞の重複と「一下」（小テスト②）
第15回目	自己紹介の発表とまとめ	
事前・事後学習	I Tや図書館を活用して、授業で不明であった点は必ず次回授業までに調べておくこと。また、科目担当者に質問に行くこと。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	意欲的に授業を受ける。宿題をきちんと提出する。
レポート		
調査報告書		
小テスト	80%	教えた分をテストする。合格点数は60点。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
『初級中国語』 陳順和・李卓著 辞書『精選日中・中日辞典』東方書店		
履修上の留意点・ルール		
1. 中国語の発音記号として決してカタカナを使ってはならない。 2. 中国語練習テープをよく聞くことを勧める。 3. 欠席・遅刻をしないこと、授業中の居眠りなどがないこと。		